

鹿児島森林管理署交渉（全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時：令和4年3月28日（月）17：15～18：15（60分）

2 場 所：鹿児島森林管理署 会議室

3 出席者：

鹿児島森林管理署  
同  
同

永山 正一  
久保田 修  
萩岡 茂治

署長  
次長  
総括事務管理官

全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会

同  
同  
同  
同

小島 洋一  
水本 利香  
日隈 俊幸  
古川 翔太

執行委員長  
副執行委員長  
書記長  
執行委員

4 交渉事項

1. 2022年度業務予定について
2. 組織・定員の確保及び空席ポストの解消について
3. その他
  - ・牧園森林事務所の早期移転について
  - ・管理者のリーダーシップについて

5 議事概要

1. 2022年度業務予定について

組合）署として資源状況や職員へ過度な負担が掛からないよう職場の実行体制等を踏まえた収穫量、生産量、販売量とすること。また、適切な森林整備を進めるため（収穫調査・林道整備等）等の推進に係る事業運営経費の予算、非常勤職員予算、庁費、旅費等、共通費予算の確保と事業実行体制を確保すること。

当局）当署の事業実行については、貴組合、職員の皆さまのご理解・ご協力を得て取り組んでいただいていることに感謝申しあげる。

2022年度業務予定についても管理者としてリーダーシップを発揮し、資源量や要員規模を踏まえ計画・実行して参る所存であり、引き続き貴組合のご協力をお願いしたい。

また、労働過多とならないよう要員や必要な予算については、上局へ上申して参りたい。

組合）業務の進行に支障が出ないように旅費及び超勤予算の確保について要望する。

当局）業務に必要な旅費・超勤予算については、必要な予算を上局へ上申して参りたい。

ただし、超勤については、過度な超勤は健康面にも影響するので、業務の進捗状況を把握し、業務の緊急性及び優先順位等を勘案し、管理者間、グループ間の連携を図り、業務の実施状況及び見通しを踏まえ、一人の職員に負担がかからないよう、応援態勢等に努めて参りたい。

2. 組織・定員の確保及び空席ポストの解消について

組合）組織・定員については、慢性的な要員不足を解消できるものとする。特に空席ポスト解消については、一般職員が治山技術官や森林整備官等と同様の業務を担わされ労働過重となっていることから若手職員へのフォローをしっかりと行い、課題解消に向けた対策や空席ポストの解消を図ること。

当局) 空席ポストの解消は、機会ある毎に上局へ申し入れをしているが、年齢構成の状況などから厳しい状況にあると認識している。

一般職員が森林整備官や治山技術官の業務を担うことで、大きな負担とならないよう、研修や上司のしっかりとしたフォローなど目配り気配りをしながら進めていきたい。なお、国有林の使命が十分果たせるよう引き続き空席ポストの解消については上局へ伝えていく。

### 3. その他

組合) 牧園森林事務所の移転について森林事務所の存在意義を踏まえ早期に新築となるよう要望する。

当局) 現在、上局より令和5年度新築計画で財務へ要望を上げていると聞いており、これまで霧島事務所との合同化など意見照会もあったが、単独での新築として要望してきた。今後も上局及び財務とも調整をしながら早期に移転できるよう取り組んで参りたい。

組合) 職場から不平不満が出ないよう管理者がリーダーシップを発揮されたい。

当局) 管理者として常に目配り、気配りを行い、不平不満が出ないよう声かけを行うなど、職員への必要な情報共有など率先して明るい職場づくりに取り組んで参りたい。